**令和７年度 第１回嘉麻市地域福祉計画策定委員会　会議録**

開催日時：令和７年７月11日（金）14時00分～

開催場所：嘉麻市役所本庁舎４階　４Ａ会議室

【委員】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 委員区分 | 氏名 | 推薦団体名（役職名） | 備　考 |
| 社会福祉関係者 | 　西　 | 真由美 | 嘉麻市民生委員児童委員協議会 |  |
| 社会福祉関係者 | 小川 | 史佳 | 嘉麻市社会福祉協議会 | 副委員長 |
| 障がい福祉関係者 | 有田 | 紀代美 | 嘉麻市身体障害者福祉協会 |  |
| 児童福祉・子育て関係者 | 合代 | 証子 | 嘉麻・桂川地区保育協会（会長） |  |
| 高齢者福祉・介護関係者 | 　森　 | 友紀子 | 社会福祉法人ひまわり会特別養護老人ホームひまわり園 |  |
| 市民団体等関係者 | 平井 | 由子 | 嘉麻市行政区長連合会（理事） | ※欠席 |
| 市民団体等関係者 | 桒野 | 良一 | 嘉麻市老人クラブ連合会（事務局長） | 委員長 |
| 公募委員 | 籾井 | 剛士 |  |  |
| 公募委員 | 手嶋 | 雄太 |  |  |
| 学識経験者 | 本郷 | 秀和 | 公立大学法人福岡県立大学（教授） |  |
| 関係行政機関職員 | 戸畑 | 典子 | 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 直方分庁舎（社会福祉課長） | R7.7.1からR9.8.31 |
| ボランティア関係者 | 永尾 | 富久美 | かま手話の会（事務局） |  |

【事務局】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属等 | 氏　名 |
| 福祉事務所　所長兼社会福祉課　課長 | 田中 | 和美 |
| 社会福祉課　課長補佐 | 末次 | 亜紀子 |
| 社会福祉課　係長 | 野見山 | 留美 |
| 社会福祉課　社会福祉係 | 石坂 | 禎久 |
| 社会福祉課　社会福祉係 | 秋山 | 　登　 |

【配布資料】

・令和７年度第１回嘉麻市地域福祉計画策定委員会会議次第

・嘉麻市地域福祉計画策定委員会委員名簿

・第３期嘉麻市地域福祉計画策定業務 工程表

・嘉麻市地域福祉計画策定委員会条例

・嘉麻市地域福祉計画策定委員会条例施行規則

・嘉麻市地域福祉の推進に関する市民アンケート調査（案）

・第２期嘉麻市地域福祉計画令和３年度～令和７年度 計画書

**議　事**

**（１）第３期嘉麻市地域福祉計画策定に関するスケジュール等について**

委員長：事務局より説明があったが、何かご質問やご意見はあるか。

委員一同：質問・意見等無し。

**（２）地域福祉計画の推進に関する市民アンケート調査（案）について**

委員長：事務局よりアンケート調査について説明があったが、ご質問やご意見はあるか。

本郷委員：対象者3,000人となっているが、母集団はどのくらいあるのか。また、3,000人に対する回収率、信頼度、標本誤差についてはどのように考えているか。

手嶋委員：前回の調査では、有効回収数が1,015件で回収率は33.8％となっているため、40％を目安にするのが理想だと考える。母集団をしっかり確認して調査するとよいと思う。

事務局：アドバイスいただいたように、3,000人のうち40％程度を目標とし、誤差については5％程度と考えている。

本郷委員：田川市の会議に出た際に、電話による詐欺が発生していると聞いた。再犯防止については記載があるが、嘉麻市は高齢化率が高いため、そのような詐欺被害についての実態把握はしなくてよいのか。

事務局：調査票については、事前に庁内担当課にて協議したうえで調査票案を作成しているが、今回は13頁にあるように再犯防止についての設問を記載しており、犯罪をされた方への支援をどのように行っていくかについて重きを置いているため、犯罪の被害については今回の調査の中にあまり含まない方向で考えている。

本郷委員：再犯者が多いという認識でよいか。

事務局：県全体での取組であり、社会の中で孤立せずに再び社会を構成する一員として地域で安心して暮らしていけるようにといった概要となるため、再犯防止に向けた取組の推進についてのお尋ねということでご理解いただきたい。

副委員長：振り込め詐欺や訪問詐欺などについては、高齢者の方々が不安に感じているという話が地域で出てきているので、調査票８頁の「３．生活課題や福祉についてお聞きします」のところで、不安に思っている方にお尋ねするとよいのではないかと思った。

事務局：いただいたご意見については庁内にて協議し、設問の中に文言を入れることを検討する。

事務局：先程の標本誤差についてだが、前回の回収をみると、約1,000件のサンプルがあり、約30％となっているが、今回は1,200件程の想定で算出すると約1.4％となる。前回の誤差が約1.2％となり、信頼度はあると考えられる。

本郷委員：標本については全体で比較をするのか、年代や性別などで比較をするのか。

事務局：単純集計に加えてクロス集計を年代ごとや性別で行い、課題を考えていく。

委員長：その他、ご質問やご意見はあるか。

委員一同：質問・意見等無し。

**（３）その他**

委員長：その他、ご質問やご意見はあるか。

副委員長：住民の方と話した中で、行政区に加入していない住民の方が多く、地域のイベントやつながりづくりにおいては、加入有無により差が出てきていると感じた。そのため、行政区への加入有無や、加入していない理由をお尋ねすることも一つの方法だと思った。また、設問の中に、地域とのつながりに関するものがあるが、そこ以前の問題であると思う。加入していない人に対しては、声掛けや見守り活動を行っていない行政区もあるそうなので、行政区に関する設問を含めていただけるとよいと感じた。

事務局：行政区については総務課の管轄となっているため、要望に応えられない場合もあるが、庁内にて協議させていただく。

森委員：国からの施策として、やらなければならない調査内容になっていると思うが、この調査の中で嘉麻市らしさというものはどこにあるのか。嘉麻市の福祉としての考え方がどこに表れているのかが見えてこないため、見えるようにするためにどのようにすればよいかお伺いしたい。

事務局：具体的な設問として、どこまで嘉麻市の特色を出すかは考えられていないが、結果を受けてクロス集計などで分析をし、活かせるような計画書案を作成できればと考えている。

事務局：なお、他の自治体と比較をして特色として挙げられるのは、調査票16頁（問36、37）の人権に関する設問となる。地域福祉計画の策定に係るアンケート調査では人権に関してお尋ねすることは少ないため、嘉麻市として人権に対して熱心に取り組み、人権を大切にしながら地域共生社会を今後めざしていく、という意味では嘉麻市の特色と言えるのではないかと考える。

本郷委員：実際に高齢者の方が回答して、答えやすかったか、答えにくかったかの検証、いわゆるパイロットテストのようなことはしたのか。

事務局：行っていない。

委員長：その他、ご質問やご意見はあるか。

委員一同：質問・意見等無し。

委員長：ご意見等がないため、以上で本日の会議を終了する。

～閉会～